

川崎区第3期区民会議第6回高齢者部会議事録

日 時：平成24年1月23日（木）18時30分～20時30分

場 所：川崎区役所7階第1会議室

出 席：猪熊俊夫委員、赤間靖夫委員、富田順人委員、服部正夫委員、星川孝宜委員、吉野智佐雄委員

川崎区：企画課金子課長、同勝野係長、同佐々木職員

コンサルタント：中島

傍 聴：2

議 題：(1)ウォーキングガイドブックの作成について

(2)「コミュニティバスの導入」に関する区民意識の把握について

(3)第3期川崎区区民会議最終報告書（案）について

(4)その他

1. 開会

(金子課長)

ウォーキングに引き続き、部会の方もお願いします。事務連絡であるが、当会議は、公開原則が適用されているので、傍聴について認めているので、ご了解願いたいと思います。本日の記録、議事録については、市民の方に公開をしているので、録音、写真撮影を行うのでご了解願いたいと思います。

本日は、副区長の方は、別の所用が入っておりまして、欠席ということでご了解いただきたい。

それでは、部会長の方に議事の進行をお願いします。

2. 議題

(1)ウォーキングガイドブックの作成について

(星川部会長)

第3期の任期末を迎え、報告書にまとめないといけない時期なので、最初のウォーキングガイドブックの作成について審議したいと思います。今日歩いていただいたご感想とガイドブックのタイトルについて、表紙のデザインが2案出されているので、それを審議してください。

(赤間委員)

今日歩いたところは見るところはたくさんあるのですが、大師のことをよくわかっていただけたかと思います。

(富田委員)

私は、大師に近いものでたまに来ますが、今回初めて知るようなところもあり、そういうことからきちっとしたものをつくる必要があると思いました。今回のコースは良かったと思います。

(服部委員)

今回はじめて歩きましたが、平坦なコースなので歩きやすいと思いました。公園については、周回コースであるが公園の中を歩くコースもあっても良いかと思いました。

(吉野委員)

コース全般的にベンチが少ないと感じました。あとコース上に道しるべがあると良いと思いました。

(星川部会長)

私たちは、ガイドブックのとおり公園を、右回りで歩きましたが、普段は左回りが一般的です。トイレの数が地図と実際とで違っていたようですが、加筆されるのでしょうか。あと表紙のデザインは、図案が2案出ていますが、どうでしょうか。

(勝野課長補佐)

案が2つに分かれています、タイトルとデザインを別々に選んでいただいても構いません。

(猪熊委員)

第2案の方がタイトル、デザインとも楽しそうで良いと思います。

(吉野委員)

私も2案が良いと思いましたが、ただ小さな字が読みづらい。もう少し大きくなると良いと思いました。ちょっと高齢者には難しいかもしれません。

(金子課長)

この吹き出しいますかね。

(猪熊委員)

ウォーキングと絵の間隔が狭すぎるような気がするのと吹き出しをもっと大きくすると見やすい。

(吉野委員)

吹き出しいらないように思えますが。

(富田委員)

イラストも大きくしてもらえれば子どもの顔も良く見えるようにあると思います。

(勝野課長補佐)

整理すると、2案でタイトルは、川崎区ウキウキウォーキング。イラストについては、もう少し大きくし、吹き出しの文字も少し大きくするというところでどうでしょうか。

(星川部会長)

よろしいですか。ウォーキングガイドブックの表紙は、そのようなことでお願いします。

(2)「コミュニティバスの導入」に関する区民意識の把握について

(星川部会長)

アンケートの結果がまとまったということなので、報告していただきたいと思います。

(コンサルタント)

※アンケート結果説明。

(星川部会長)

補足ですが、田島地区の人たちからの回答が多いという説明があったかと思うが、回答者数は田島地区が最も多いのです。しながって、例えば、12ページの「コミュニティバスを利用しますか」という質問では、川崎区役所管内は全体の30%、田島地区が35.1%で、田島地区の方が高いですが、回答者数の率に比べると下がっています。そ

うい見方をしないと田島地区がいつも高いと理解しがちなのです。ただ、田島地区では、やはりコミュニティバスを利用したいという回答が多いことがわかります。利用目的は、買い物、病院が高くなっています。これはこれまでに検討してきたものと合っています。アンケートの結果をみて、みなさんいかがでしょうか。

(猪熊委員)

私は、アンケートの質問で「高齢者の外出が増えると思いますか」というので、半数以上は増えると答えている。この結果は良かったと思います。

(吉野委員)

「高齢者の外出が増えるか」というのに対し、「わからない」という回答は何でしょうかね。

(星川部会長)

30%ありますからね。意外と多いですね。

(富田委員)

本人がわからないということなので、我々が理解できるわけがないと思います。

(金子課長)

バスが走ってみないとわからないということだと思います。

(富田委員)

外出する人が増えると答えた方がこれだけいるのは良かったと思います。

(星川部会長)

ちょっと意外だったと思ったのが、「バス移動を不便に感じる理由」の質問で、川崎駅周辺の方で最も多いのが、「バス停まで遠い」が多くなっています。これはどういうことかと思いました。もしかしたら選択肢でありあてはまるものがないので、消去法で選んだのかとも思えますが。バス停まで遠いというのは、どのくらいの距離なんですかね。

(吉野委員)

どこも近いと思いますが。

(猪熊委員)

経由先の違いがあるのではないのでしょうか。京町経由のところは、あまりバス停がないんですね。歩くと結構大変ですね。15号線の横方向への移動は大変だと思う。

(金子課長)

大きな通りと通りの間にお住まいの人かもしれませんね。

(吉野委員)

50%くらいの人がコミュニティバスの導入により外出が増えると答えているので、コミュニティバスの導入が必要であるということだと思う。

(星川委員)

他にどうでしょうか。

(吉野委員)

川崎市交通局がバスの中で調査をやっているが何をやっているのでしょうか。

(金子課長)

お客さんがどこから乗って、どこで降りたかという調査である。

(吉野委員)

そういうデータは、公表されていないのか。そういうデータも使えるのではないか。

(猪熊委員)

私は、このデータをTMOの方に持ち帰って比べてみたいと思います。

(3)第3期川崎区区民会議最終報告書(案)について

(勝野課長補佐)

それでは、報告書骨子(案)を事務局から説明させていただきたいと思います。(※資料説明)

(星川部会長)

みなさん、この取りまとめで良いかどうか、いかがでしょうか。あと、空欄の部分の振り返りで、ご意見をいただきたいと思います。

報告書を見るとまず、高齢化率のグラフがある。川崎市のデータはないが、川崎市全体は、全国よりも低いはず。川崎区は、他の区よりの高いと思う。川崎市のデータを入れていただきたい。

(金子課長)

最後のところは、部会での振り返りを載せたいと思っているのでご自由にご意見をいただきたい。

(星川部会長)

自由にご意見を述べてよいということなので、まず、ウォーキングガイドブックの方からいかがでしょうか。

(服部委員)

今回の高齢者部会の審議テーマは、高齢者にやさしいまちづくりということなので、障がい者もそうだしすべての人にやさしいまちづくりということで共通したことだと思う。このため、外に出やすい環境づくりが重要になると思います。ガイドブックについて思ったのは、高齢者が外に出てまず困るのは休めることだと思います。やさしいまちづくりの中でのウォーキングガイドブックであるならば、一般のウォーキングマップと違って、この情報を入れたといったところが必要だと思います。

あとコミュニティバスについてですが、大師、田島の方が不便を感じていることは予想通りわかりました。実際アンケートの方をお願いすることにあたって、意識調査ということをお願いしてきたが、この意識調査ができたことが画期的だと思います。

(富田委員)

だいたい同じようなことですが、ウォーキングガイドマップは、高齢者が中心であるが、家族みんなで歩けるようなコースを設定したらどうかと思います。また、今回は、幸区の方にはどのようなものがあるかなと範囲を広げた方が良かったと思いました。

コミュニティバスについては、先ほどのアンケートにあったバス停まで遠いというのがどういうことを調べてみたらどうかと思います。

(赤間委員)

ウォーキングガイドブックについては、高齢者が気持ちよく歩くのに適していると思いました。ただ高齢者になると家から出てくることがおっくうになるのでそれをどうするかが課題だと思います。ウォーキングガイドブックが外に出るきっかけになればと思います。

コミュニティバスについては、アンケートを実施いろいろな方に協力をいただいているいろいろな意見が出てきた。今後は前向きに取り組めるのではないかと思います。アンケートに協力してくれた人はコミュニティバスを期待していると思います。

(吉野委員)

ウォーキングガイドブックは、良くできていると思います。ただ、既存の情報をガイドブックに載せているだけで、ウォーキングガイドブックをつくるにあたって明確になったまちの課題に解決につながればよかったです。要するにベンチとトイレの数が足りないと思いました。今日歩いたコースは、ベンチやトイレが他のコースより整備されているのではないかと。あとガイドブックの活用方法であるが、年に数回ウォーキングの日のようなイベントを行うことやスタンプラリーなどのイベントを開催することなどが考えられると思います。今後の取り組みについては、ガイドブックを通じてわかったまちの課題解決の取組を行うことが考えられると思います。

コミュニティバスについては、モデルコースを一度つくってみて、それを原点にしてアンケートを取るとかが良いのではないかと思います。

(猪熊委員)

ウォーキングガイドブックについては、設備の位置が変わってくると思いますので、見直しの時期が必要なのではないかと思います。

コミュニティバスの件ですが、アンケート結果をみてびっくりしたのが高齢者の望んでいる人が多かったことです。今後の取組では、審議会のようなものをつくって審議することが大事だと思います。また、どのような運行主体が考えられるのか検討することが重要だと思います。

(星川部会長)

ウォーキングガイドブックについては、ガイドブックをつくるのが最終目標ではなく、活用されることが重要だと思います。多くの高齢者に使っていただく方法や場を考える必要があります。ガイドブックを通じて自分たちの住む地域を知ってほしいと思います。ベンチ、トイレは切実な問題であると思います。ガイドブックがまちの課題解決につながれば良いと思います。トイレについても新しい公衆トイレをつくるのではなく、コンビニなどと連携していく方法もあるのでは。公衆電話の位置については、携帯の普及により公衆電話がどんどんなくなっています。増刷の折には、位置の確認が必要だと思います。

コミュニティバスについては、多くの高齢者が望んでいることがわかりました。このため、ぜひ継続して検討する協議会のようなものを設置してほしいと思います。コミュニティバスは、全国で求められている交通機関です。引き続き検討することが必要ではないでしょうか。

報告書の中では、いくつかルートが出ているのですが、それをしっかり検討したかというところまでできなかった。このため、ルートは明確にしない方が良くと思います。

(猪熊委員)

ルートについては、事業者も入って決めると思うので、今回はぼかして示した方が良くと思います。

(吉野委員)

逆に区民に対し、物議をかますくらいでないといけません。このため、しっかりルートを明記した方が良くと思います。

(金子課長)

この件については、事務局で調整します。本日はウォーキングからはじまり、かなり時間もかかっているのと会場の時間が限られているので、そろそろ終了したいと思います。報告書の意見については、1週間くらいで見ていただき事務局へご意見いただければ次回までに修正します。

(星川部会長)

そうですね。なにかありましたら事務局へお伝えください。

(金子課長)

それでは、本日はこれで終わりにさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

以上